

茨城県福祉人材センター

若者参入促進 × 多機関連携 @ 人がいるところでPR

目的

将来を見据えた福祉分野の人材確保対策のため、働き手のすそ野拡大や多様な働き方の推進がこれまでに以上に求められている。多機関が協働し、多くの人がいる環境など、効果的に福祉の仕事の魅力を発信していくことで、特にターゲットとしたい若者のキャリア形成の機会を提供し、若者やその関係者の理解・参入促進につなげていく。

取り組み内容・成果①

B.LEAGUE Hope×日本生命「地域を元気に！バスケACTION」みとまちなか車いす体験DAY への参加

【イベント趣旨】「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に！バスケACTION」の一環として開催する「心のバリアフリープロジェクト」

【連携機関】・プロバスケットボールチーム・社会福祉法人・NPO・大学・企業・行政

【イベント内容】■車いすバスケ体験会

■WheelLog! 街歩き体験会(車いすに乗って街のバリアフリーマップ作成)

※福祉人材センターPRの実施

【成果】参加者135名

(参加者の声)

- ・車いすを使用するという非日常の壁が、とても低く感じられました。できないことを恥ずかしいと考える暇がないくらい、大学生のみなさんが優しく、楽しい体験会でした。
- ・街を歩くと、ついバリアばかりに目が向きがちです。でも実際には、たくさんの配慮が街の中にはあるんです。そのことに気づいたとき、街の見え方が変わる。バリアを嘆くのではなく、バリアを楽しく攻略していく。



取り組み内容・成果②

かさまスポーツ&フードフェス2026 への参加

【イベント趣旨】森ビルゴルフリゾート株式会社と笠間市が連携し、町おこしのための地域共生イベント

【連携機関】・茨城県老人福祉施設協議会・茨城県介護福祉士会

【イベント内容】■スポーツ体験・音楽ライブ・花火・キッチンカー・その他体験コンテンツ

▶三者によるブース出展

- ・チャレンジヨーヨー釣り … (動作や視界を一部制限したヨーヨー釣り)
- ・展示／体験 … 車いすバスケ用車いす、セラピーロボット等
- ・老人福祉施設協議会キャラクター着ぐるみの登場

【成果】ブース来場者900名

※三者共同グッズによる周知1,100名

※福祉人材センターグッズによる周知1,500名



メッセージ

「福祉を身近に感じよう！」

福祉は「特別な誰かのため」でも「特別なこと」でもなく、すべての人の暮らしにつながる身近なものです。福祉の仕事は、人と人がつながり、安心・安全な生活を支えることが特長なので、みなさんの「好き」や「とくい」を活かせるお仕事でもあります。